

1968年十勝沖地震50周年シンポジウム

— 過去を見つめこれからを考える —

日本列島は本格的な地震活動期に入ったと言われていています。また本年は十勝沖地震から50年目の節目にあたります。この機に、建設分野の立場から今後の防災対策や災害軽減のため、過去を振り返り最近の知見を共有して、防災意識の向上を考えます。

CPD認定プログラム(申請中)

(公社)日本技術士会東北本部青森県支部
(一社)建設コンサルタンツ協会
(一社)全国土木施工管理技士連合会
(一社)青森県建築士会

- 日時：平成30年8月25日(土) 14:00~17:30
- 会場：八戸プラザホテル 2階 桜の間 TEL: 0178-44-3121
- 参加費：無料(定員100名)
- 主催：十勝沖地震シンポジウム実行委員会
八戸工業大学、弘前大学、八戸工業高等専門学校、八戸学院大学、青森県、八戸市
(一社)青森県建設業協会、(一社)青森県建築士会、(一社)青森県建設コンサルタント協会
(一社)青森県測量設計業協会、(公社)日本技術士会東北本部青森県支部
- 主管：八戸工業大学インフラ・防災技術社会システム研究センター
- 後援：(一財)青森県工業技術教育振興会、東奥日報社、デーリー東北新聞社、NHK青森放送局、青森放送(株)、(予定) (株)青森テレビ、青森朝日放送(株)、(株)八戸テレビ放送、(株)エフエム青森、コミュニティラジオ BeFM

プログラム

司会：八戸工業大学 畑中ひとみ

【開会挨拶】

14:00~

- 十勝沖地震シンポジウム実行委員会 実行委員長 長谷川 明
(八戸工業大学学長・インフラ・防災技術社会システム研究センター長)
- 青森県知事 三村 申吾
- 八戸市長 小林 眞

【講演】

14:15~16:30

- (1)「十勝沖地震から50年—建物被害はどう変わったのか?」
八戸工業大学 教授 滝田 貢
- (2)「1968年十勝沖地震の地震動強さと将来の地震動」
弘前大学 教授 片岡 俊一
- (3)「降雨時・地震時における地盤の挙動と防災」
八戸工業高等専門学校 准教授 清原 雄康
- (4)「防災教育と防災士について」
八戸学院大学地域連携研究センター 准教授 井上 丹

【パネルディスカッション】 テーマ「過去を見つめこれからを考える—自助・共助・公助」

16:35~17:25

- コーディネーター： 八戸工業大学 准教授 工藤 祐嗣
- パネリスト : 青森県防災危機管理課 課長 豊島 信幸
- 八戸工業大学 教授 滝田 貢
- 弘前大学 教授 片岡 俊一
- 八戸工業高等専門学校 准教授 清原 雄康
- 八戸学院大学地域連携研究センター 准教授 井上 丹

【閉会挨拶】 17:25~

交流会：18:00~19:30 八戸プラザホテル 1階プレシャス TEL:0178-44-3121 会費 4,000円

問合せ先：八戸工業大学 社会連携学術推進室
TEL：0178-25-8005 FAX：0178-25-1966 E-mail：kaikaku@hi-tech.ac.jp